

本体とキャッチ部の左右勝手切り替え方法

本体およびキャッチ部の左開き用を右開き用に変更する場合、以下の手順で組替えて下さい。（逆勝手変更も同じです）

本体

①固定軸を台等の上に押し当てて、ネジを破損しない様にゆるめ
ローラー、固定軸を外して下さい。

②取り付いていた部品を上向きに組替えて下さい。

※ネジの十字穴の破損に注意！

※ネジの十字穴の破損に注意！

※ネジの十字穴の破損に注意！

キャッチ部

＜左開き用＞

①ネジを2ヶ所外す

＜右開き用＞

②キャッチ部樹脂をひっくり返す

③ネジで2ヶ所取り付ける

施工・使用上の注意

●お手入れの方法

本体カバー、キャッチカバー表面が汚れたときは、柔らかい布で軽く拭いて下さい。

シンナーやベンジン等で拭いたり、殺虫剤をかけたりますと変色や光沢が損なわれたり、カバーの割れの原因になる為、絶対に使用しないで下さい。

●建付けや枠の歪み、丁番の不具合によって扉が勝手に開いてしまう等、作動性能に問題のある場合扉が閉まり切らないおそれがあります。

●本製品の使用可能温度範囲は0℃～40℃迄です。

●扉質量は12kg～30kg迄です。
（扉が12kg以下の場合は扉を閉めた際、反発して閉まり切らない場合があります。）
（扉が30kg以上になりますと扉を完全に閉め切らない場合があります。）

●扉を故意に強く閉め過ぎると部品が破損する場合があります。

●本製品を使用しない場合は、アームをOFF状態にしてご使用下さい。

●部品に潤滑油やグリスを注がないで下さい。部品の割れや変形・変色を生じるおそれがあります。

●エコキャッチ本体アームおよびキャッチ部品に衣服や洗濯物など物を掛けないで下さい。部品の曲がりや破損する場合があります。

●本製品の使用前に丁番の固定ネジがしっかり締まっているかご確認下さい。締まっていない場合は、しっかりと締め付けて下さい。

●扉を強く閉めた時はブレーキが効かず戸当りにあたる事があります。

●学校等へは使用しないで下さい。

●安全のため、必ず手袋を着用して取付けて下さい。

●以下の使用下では、引き込み機能が正常に作動しない場合があります。

- ・丁番により扉に負荷がかかりすぎている。
- ・モヘヤ付戸当りやエアタイトを使用している。
- ・換気扇を使用している。
- ・風が入り込む部屋や気密性の高い部屋。
- ・扉が枠や床・ジュウタン等にすれている。
- ・建付けが悪く扉が閉まりにくい。
- ・扉のラッチの作動が重い。

危険防止のために

⚠ ドアと枠の間に手などを不要意に入れないで下さい。
閉じてくるドアにはさまれてケガをするおそれがあります。

⚠ 本体装置のアーム操作でON状態、OFF状態にする際には本体とアームの間に指をはさまないように十分注意して操作して下さい。

⚠ 丁番

⚠ 戸先側

作動確認と対策

◎施工完了後、ゆっくりと扉を閉めて正常に作動するか（扉が引き込まれるか）ご確認下さい。

現象	原因	対策
扉を全く引き込まない	本体が「OFF状態」である	本体「アーム」を引き出し「ON状態」にする
扉が引き込み切らず途中で止まる	使用しているバネの引き込む力を妨げる要因がある	扉が問題なく閉まるように建付け調節する キャッチ部品の引き込み調整を行う
扉が閉まらず跳ね返る	本体「ローラー」とキャッチ部品が当たっている	キャッチ部品の左右調整を行う

株式会社ダイケン

●受付時間 月～金 9:00～12:00/13:00～17:00
（土日・祝日・年末年始・夏季休業等除く）

■本社：大阪市淀川区新高2-7-13 TEL (06) 6392-5321

■ホームページ www.daiken.ne.jp

札幌支店 ☎(011)881-3121
〈北海道エリア〉

東京支店 ☎(03)3633-6551
〈東京23区エリア〉

名古屋支店 ☎(0586)77-7561
〈愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井・浜松エリア〉

大阪支店 ☎(06)6392-5556
〈大阪・兵庫・奈良・京都・和歌山・滋賀エリア〉

盛岡営業所 ☎(019)908-2202
〈岩手・青森・秋田エリア〉

仙台営業所 ☎(022)235-4380
〈宮城・山形・福島エリア〉

埼玉営業所 ☎(048)667-9381
〈埼玉・栃木・群馬・長野・新潟エリア〉

千葉営業所 ☎(043)460-2010
〈千葉・茨城エリア〉

西関東営業所 ☎(042)722-5040
〈神奈川・山梨・一部都下エリア〉

静岡営業所 ☎(054)237-5375
〈静岡エリア〉※浜松エリアは名古屋支店へ

岡山営業所 ☎(086)297-9100
〈岡山・四国4県エリア〉

広島営業所 ☎(082)294-9181
〈広島・鳥取・島根・山口エリア〉

福岡営業所 ☎(092)482-8112
〈九州7県・沖縄エリア〉

特販営業所 ☎(03)3633-6552

開戸引き込み装置 「エコキャッチ」 取付・取扱説明書

品番：ECR-30RS
ECR-30RG
ECR-30LS
ECR-30LG

施工業者様へ
施工前に必ずこの取付・取扱説明書をよくお読み下さい。
取付後、この取付・取扱説明書をユーザー様にお渡し下さい。

ユーザー様へ
ご使用前に、必ずこの取付・取扱説明書をよくお読み下さい。
この取付・取扱説明書は大切に保管して下さい。

本製品は室内用木製扉専用の金具です。鉄扉等への取り付けはできません。

部 品 明 細

■商品に梱包されている部品は以下の通りです。梱包の内容をご確認下さい。

＜本体装置＞

※図は左開き用

ローラー
アーム

＜取付ビス袋＞

5 本体用・・・2本

6 キャッチ部品用・・・2本

取付・取扱説明書・・・本紙1枚

キャッチ部品ケガキ用型紙・・・別紙1枚

	名 称	材 質	数
①	本体	スチール, 樹脂	1
②	本体カバー	樹脂	1
③	キャッチ部	ダイカスト, 樹脂	1
④	キャッチカバー	樹脂	1
⑤	呼び径3.8×57 皿タッピンネジ	スチール (三価クロメート)	2
⑥	呼び径4×20 トラスタッピンネジ	スチール (三価クロメート)	2

納 ま り 図

＜左開き用＞

※1 0～20

上枠

本体装置

136

184

キャッチ部品

16

※3 12以下

戸当り

扉

たて枠 丁番側

扉芯材

30以上

33

24以上

20

46

23～35

※2

キャッチ部品

扉

（横から見た図）

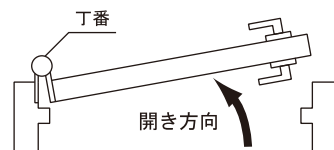
※1, ※2, は本説明書の本体装置取り付け方法を参照して下さい。
※3 は本説明書の戸当り寸法と上枠寸法の確認を参照して下さい。

取 り 付 け 前 の 確 認 事 項

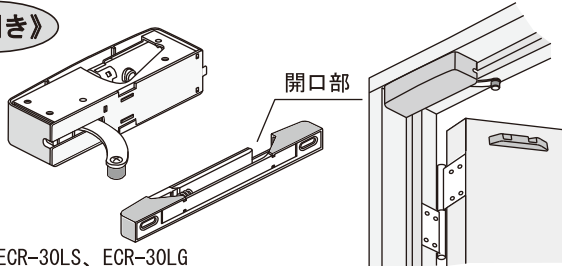
扉開き方向の確認

■左開き用・扉を押して開ける時、左側に丁番があります。

《左開き》



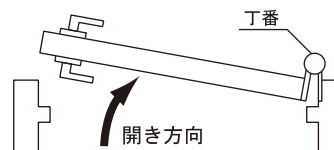
《左開き》



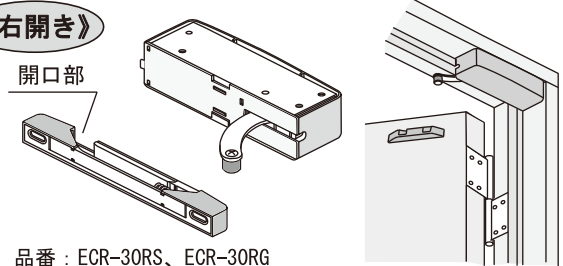
品番：ECR-30LS、ECR-30LG

■右開き用・扉を押して開ける時、右側に丁番があります。

《右開き》



《右開き》



品番：ECR-30RS、ECR-30RG

扉開閉の確認

■扉が問題なく軽く閉まりますか？（扉と枠体の接触等により、軽く閉まらない等の問題があると最後まで扉を引き込まない事があります。）

閉まる
OK

閉まらない

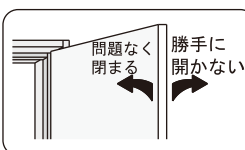
※丁番や枠体等の調整を行って軽く閉まる様にして下さい。

■扉を少し開けた時、勝手に開いていく事がありますか？

勝手に開かない
OK

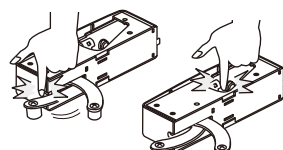
扉が勝手に開く様な場合、最後まで扉を引き込まない事があります。

※丁番等の調整を行い、扉を開けた時に勝手に開かない様にして下さい。



本体装置の引き込み機能状態の確認

注意 ⚠️ アームを移動する際、本体装置とスキマでの指詰めにご注意下さい。



OFF状態

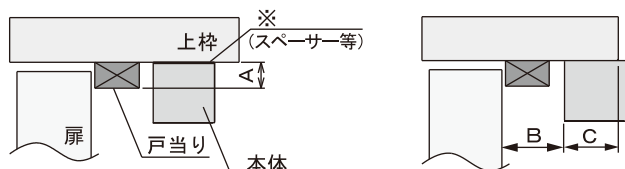
ON状態

アーム

アームを手で引き出し、ON状態にします。

戸当り寸法と上枠寸法の確認

戸当りおよび上枠の寸法が表-1の寸法の場合、取り付けはできません。



※（スペーサー等）

※扉の厚さ25mm以上必要

表-1

A: 12mmより高い ※	×
B: 23mm未満	×
C: 24mm以下	×

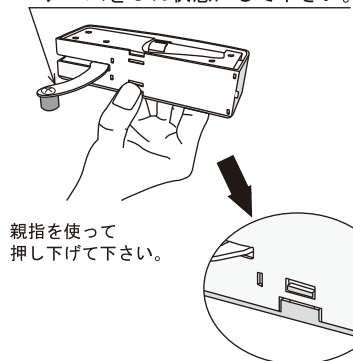
※戸当り高さが12mmより高い場合は、12mmを超えた寸法分のスペーサー等を本体と上枠の間にに入れて下さい。（スペーサーはお客様での用意(加工)となります）

本 体 装 置 取 り 付 け 前 に

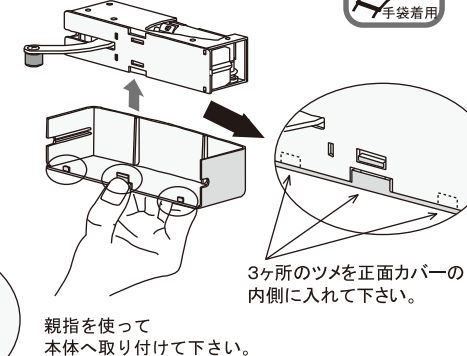
本体カバー

<取り外し方>

アームをON状態にして下さい。



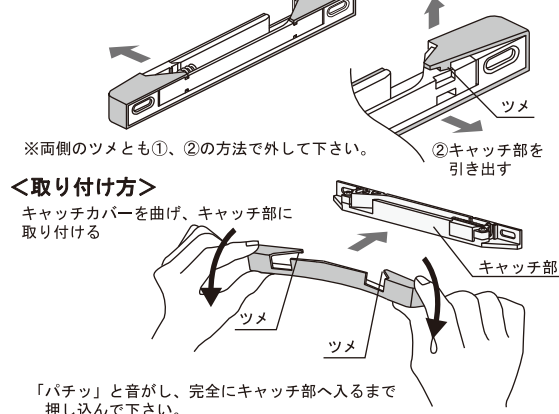
<取り付け方>



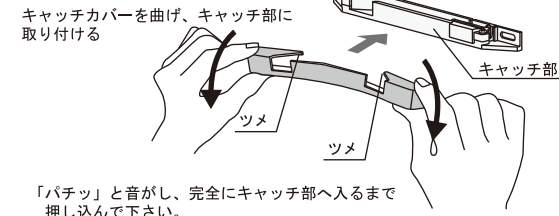
キャッチカバー

キャッチ部取り付け前にキャッチカバーを外して下さい。

<取り外し方>



<取り付け方>



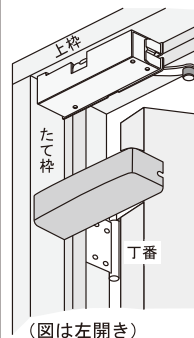
注意 ⚠️ インパクトドライバーは絶対に使用しないで下さい。安全のため、必ず手袋を着用して取付けて下さい。

本 体 装 置 取 り 付 け 方 法



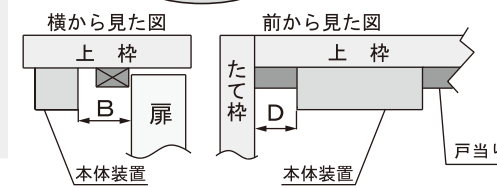
取り付け方法

① 本体を丁番側上枠に取り付けて下さい。 ※取り付け位置は表-2、図-1、図-2をご確認下さい。
② 本体カバーを最後に取り付けて下さい。

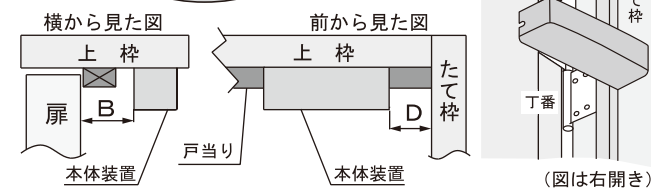


（図は左開き）

《左開き》



《右開き》



（図は右開き）

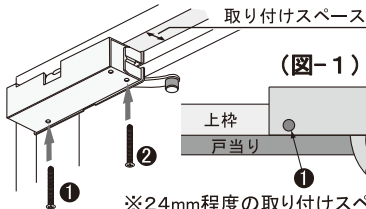
B寸法によるD寸法の決定

（表-2）

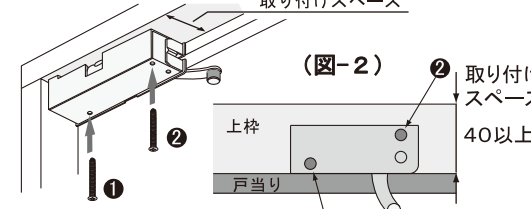
B 寸 法	D 寸 法
23mm ～29mm未満の場合	約20mm
29mm ～35mm未満の場合	約10mm
35mmの場合	0mm

※B寸法は最大35mmで取付けて下さい。

本体取り付けスペースによる取り付けネジの位置の決定



※24mm程度の取り付けスペースの場合は、下穴等をあけて枠の割れ対策を行うなどの注意が必要です。



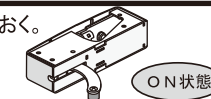
キ ャ ッ チ 部 品 取 り 付 け 方 法 と 調 整 方 法



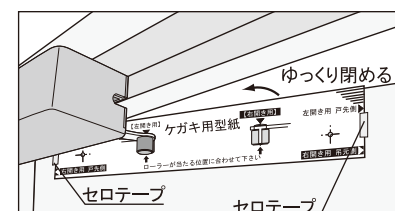
取り付け方法

◎ケガキ用型紙をご使用の上、正しく取り付けて下さい。

上枠に本体装置を取り付け、アームをON状態にしておく。



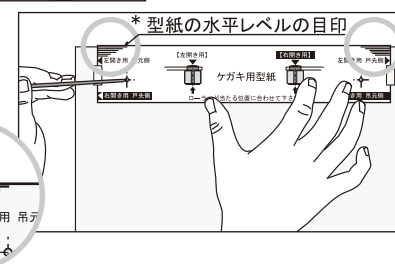
① 扉に型紙を当て、ゆっくりと扉を閉める。
（セロテープを型紙両側に貼っておくとケガキの時に便利です）



② ローラーが型紙に当たったら、型紙の絵のローラーの切り欠き部に合わせる。

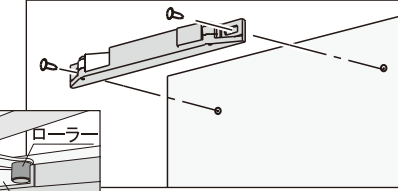


③ 型紙とローラー位置調整後、水平レベルの目印を利用し、扉と型紙のレベルを合わせてからケガキ穴に2箇所キリ等で印をつける。

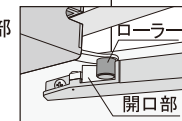


* 型紙の6本ラインは扉と型紙の水平レベル出し用に利用して下さい。

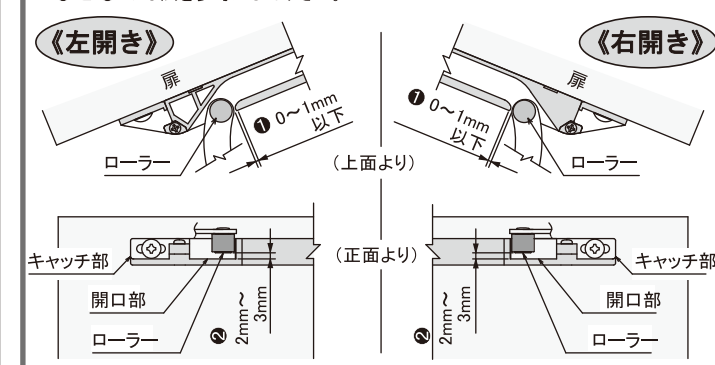
④ 型紙をはずし、ケガキ穴に合わせてキャッチ部品を取り付ける。



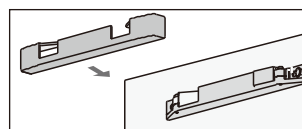
⑤ ローラーがキャッチ部に入るか確認する。



●キャッチ部とローラーの位置
①と②の寸法を参考にして下さい。

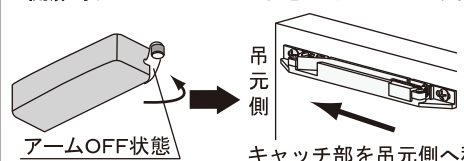


⑥ 扉の引き込みが正常に作動すれば、キャッチカバーを取り付けて完了。

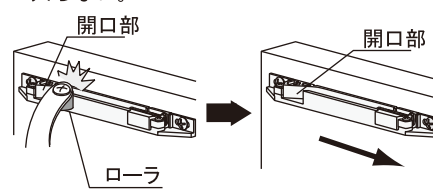


調整方法

●開扉時、アームがOFF状態になってしまう。



●閉扉時、ローラーがキャッチ部の開口部に入らない。



●扉が閉まる直前の速さを遅くしたい時。

